

議会だより

みほ

2018.5.1

No. 121

茨城県美浦村議会

<http://www.vill.miho.lg.jp/gikai/index.html>

第56回卒業証書授与式



美浦中卒業式

(3月13日)

平成30年第1回定例会

2

一般質問

7

視察報告

14

議員活動

16



平成30年第1回定例会

平成30年第1回定例会は、3月6日から23日までの18日間の会期で行われました。

今定例会では、村長から村道路線認定、条例制定・改正、平成29年度補正予算、平成30年度予算の32議案が提出され、審議の結果、すべての議案が原案のとおり可決されました。

一般質問は22日に行われ、7人の議員が登壇し、村政全般にわたり質問がなされました。

平成30年度予算 予算総額 109億9,864万1千円を可決 (前年度比4.9%増)

平成30年度予算(案)を審査するため、「予算審査特別委員会」を設置しました。3月14日・16日の2日間、一般会計、特別会計、企業会計8会計の審議を行いました。

審議の結果、8会計すべてが可決されました。

会計別予算

区 分	平成30年度予算額	平成29年度予算額	増減率
一般会計	60億2,000万円	54億5,300万円	10.4%
特別会計	41億9,920万円	43億930万円	△2.6%
国民健康保険	18億9,590万円	21億4,780万円	△11.7%
農業集落排水事業	1億6,080万円	1億6,180万円	△0.6%
公共下水道事業	8億3,710万円	8億2,700万円	1.2%
介護保険	11億5,670万円	10億4,450万円	10.7%
後期高齢者医療	1億4,870万円	1億2,820万円	16.0%
企業会計	7億7,944万1千円	7億1,785万1千円	8.6%
水道事業	6億7,564万5千円	6億6,263万2千円	2.0%
電気事業	1億379万6千円	5,521万9千円	88.0%
合計	109億9,864万1千円	104億8,015万1千円	4.9%

平成 30 年度重点事業

(単位：千円)

区分	事項別	事業名	事業の内容	事業費		
社会資本を整備する事業	道路新設改良事業	村道整備事業	村道整備	新規 3 路線 継続 2 路線 (村単独事業)	153,930	
			排水整備	新規 1 路線 (村単独事業)		
	下水道事業	公共下水道事業	管渠布設工事ほか		451,702	
子ども・子育て及び生活を応援する事業	子育て支援対策事業	児童手当	児童の健全な育成及び資質の向上に資する		215,420	
		子育て広場事業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として開設し、子育てについての相談、情報提供、助言等の支援を行う		8,523	
		ファミリーサポート事業	子どもの預かり等の援助を行いたい者と援助を受けたい者からなる会員組織を設置し、預かり等を行う		3,663	
		利用者支援事業	教育・保育施設や地域子育て支援事業等の利用について情報収集・相談・助言を行い、関係機関との連絡調整等を行う		2,575	
	医療給付事業	妊産婦医療費助成	少子化対策、子育て支援策の一環として、県の制度の所得制限で非該当となった妊産婦に対し、県制度と同額の医療費の補助を行う		636	
		こども医療費助成	中学 3 年生までの子どもの医療費の全額を助成することにより医療機関の適切な受診を促進し、健康の保持を図る (村単独事業)		13,440	
	保健予防推進事業	予防接種事業	感染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するため予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進を図る (村単独事業)		33,043	
		母子保健事業	母性並びに乳幼児及び幼児の健康の保持増進を図るため、保健指導、健康診断、医療、その他の措置を講じる (村単独事業)		17,151	
		健康診断事業	村民の生活習慣病の予防、疾病の早期発見及び早期治療を図るため、各種健康診査を行うことにより、健康増進に寄与する		28,867	
		任意予防接種事業	高齢者肺炎球菌、大人の風しん、子どもインフルエンザ、おたふくかぜの予防接種希望者への費用助成を行う (村単独事業)		3,233	
		大谷保育所管理費	トイレ改修工事等	入所児が安全かつ安心して生活するための施設維持管理を行う (村単独事業)		9,961
		木原保育所管理費	トイレ改修工事等	入所児が安全かつ安心して生活するための施設維持管理を行う (村単独事業)		7,658
		交通弱者対策事業 (デマンド交通)	交通弱者対策事業 (デマンド交通)	公共交通の廃止や減少に伴い、自家用車を運転しない高齢者等の外出の利便性を確保し、地域での生活を容易にするため、デマンド型乗合タクシー(やまゆりタクシー)を運行する (村単独事業)		14,211
	産業振興事業	農林水産業振興事業	産地づくり助成事業			52,800
強い農業づくり助成事業			本村農業の本来あるべき姿の形成に向けて、生産者の所得の安定と米価を維持、確保しながら農業生産額の向上を図る		204,415	
イネ雑草枯病防除助成事業					3,000	
安全・安心のための事業	防犯対策事業	防犯灯設置等、防犯カメラ新設工事等	防犯灯及び防犯カメラの整備により住民の安全安心を確保する (村単独事業)		10,882	
	特定空家対策事業	空家等対策支援業務委託料等	住民の生命や財産を保護するとともに、空き家バンク制度と連携し、空家等の活用を推進する (村単独事業)		3,807	
	屋外防災行政無線整備事業	屋外防災行政無線整備事業	防災行政無線を整備し、村民への災害等緊急情報の伝達手段の充実を図る。 (村単独事業)		329,145	
	光と風の丘公園管理費	公園・テニスコート照明更新工事	スポーツ活動の場として、また地域住民の憩いの場として、光と風の丘公園の整備・維持管理を行う (村単独事業)		67,284	
教育振興を図る事業	T T 配置事業	T T 配置事業	小学校にティーム・ティーチング(T T)のための非常勤講師を配置する (村単独事業)		8,325	
	教育クラウド事業 (小・中学校)	教育クラウド事業 (小・中学校)	教育系システムについてクラウド化を実施し、「児童・生徒」のために、最適な学校 ICT の環境を再整備する (村単独事業)		39,154	
	地域未来塾事業	地域未来塾事業	家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分身につけていない中学生を対象に放課後や夏休期間に学習支援を実施する。		1,905	
	訪問型家庭教育支援事業	訪問型家庭教育支援事業	子育てについての悩みや不安を抱え孤立しがちな家庭の支援を行い保護者の支援を通じて子どもの育ちを支える		700	
	外国人英語指導助手派遣事業	外国人英語指導助手派遣事業	英語力の向上と国際社会に対する理解を深めるため、保育所、幼稚園、小学校及び中学校に外国人講師を派遣する (村単独事業)		11,551	
	小学校施設管理費	大谷小学校駐車場造成工事等	学校施設を適正管理し、児童、職員の安全・安心を担保する (村単独事業)		11,144	
	学校給食施設管理費	大谷小給食室改築工事実施設計等	学校給食施設の適正な管理を確保し、児童及び職員への安全・安心な給食を担保する (村単独事業)		8,640	
地域活性化事業	定住促進事業	定住促進事業	村外からの移住による人口の増加及び村民の定住促進を図り、村の活性化に寄与する		8,744	
	ふるさと応援寄付金事業	ふるさと応援寄付金事業	本村を応援する個人又は団体からの寄付金に対する謝礼として本村特産品を進呈する (村単独事業)		11,883	
	地域公共交通確保対策事業	地域公共交通確保対策事業	実証実験をスタートした稲敷エリア広域バスについて、運行継続と路線定着に向けての利用促進の実施を行う		4,820	
	競走馬の里(美浦村)PR 事業	LED 表示サイン取付工事等	美浦ステークス開催時、WINS(場外馬券場)等での美浦村のPR 事業を行う		18,144	

※ティーム・ティーチング(T T)とは複数の教員が役割を分担し、協力し合いながら指導計画を立て、指導する方式

補正予算

補正予算を可決

今回の補正予算は、歳入歳出全般にわたり現計予算の見直しを行い、主に事業費が確定したものと及び見込みがつかないものの調整、緊急を要する事業の補正を行いました。

会 計 名			補 正 額	予 算 総 額	
一 般 会 計			△ 1,137 万 6 千円	55 億 9,136 万 3 千円	
特別会計	国民健康保険		△ 1,924 万 7 千円	22 億 2,610 万 3 千円	
	農業集落排水事業		△ 154 万円	1 億 6,571 万 9 千円	
	公共下水道事業		1,308 万 7 千円	10 億 170 万 5 千円	
	介護保険		1,009 万 4 千円	11 億 3,900 万円	
	後期高齢者医療		1,118 万 5 千円	1 億 3,938 万 5 千円	
	水道事業	収益的	支出	△ 365 万 9 千円	5 億 7,883 万 9 千円
		資本的	収入	122 万 4 千円	328 万 7 千円
			支出	△ 370 万円	8,028 万 4 千円
	電気事業	収益的	収入	800 万円	1 億 656 万 7 千円
			支出	59 万 3 千円	5,376 万 5 千円

視察研修受け入れ

美浦村議会では、本村議会などの取り組みに興味を持っていただいた市町村議会の視察を受け入れていきます。今年度もたくさんの議会の皆様に興味を持っていただき、視察に来ていただきました。

平成 29 年 5 月 茨城県大洗町議会 14 名

7 月 茨城県石岡市議会 8 名

7 月 福島県両沼地方町村議会 議

長会 8 名

10 月 長野県原村議会 7 名

11 月 群馬県中之条町議会 9 名

11 月 埼玉県上里町議会 8 名

平成 30 年 2 月 福島県三春町議会 9 名

3 月 山梨県鳴沢村議会 10 名

その他の議案と審議内容

区分	議案	議案内容
条例制定	美浦村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例	居宅介護支援等の事業に係る人員や運営などに関する基準等を定めるための制定
	美浦村空家等対策の推進に関する条例	空家等の所有者等の責務、各種行政指導等の措置等を規定し、空家等対策を総合的に推進するための制定
条例改正・廃止	美浦村特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告による法律の一部改正により、所要の改正を行うとともに、規定の整備を行うもの
	美浦村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告による法律の一部改正により、所要の改正を行うとともに、規定の整備を行うもの。
	美浦村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	国民健康保険税の賦課方式及び税率の変更を行うもの
	美浦村国民健康保険条例の一部を改正する条例	国民健康保険法施行令の一部改正により、条文の改正を行うもの
	美浦村介護保険条例の一部を改正する条例	新たな介護保険料率を設定したことから、第1号被保険者の保険料を改正するもの
	美浦村指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	介護保険法施行規則の改正により、条例の改正を行うもの
	美浦村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の改正により、条例の改正を行うもの
	美浦村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の改正により、条例の改正を行うもの
	美浦村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部改正に伴い、後期高齢者の住所地特例に係る条文の改正を行うもの
	美浦村企業誘致条例の一部を改正する条例	美浦村企業立地の促進等のための固定資産税の課税免除に関する条例の廃止に伴い、新たに奨励金に係る規定を加えるもの
	美浦村企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの
	美浦村スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例	美浦村スポーツ推進審議会委員の任期を1年から2年に改正するもの
	美浦村企業立地の促進等のための固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例	適用期間が終了することによる廃止
その他	村道路線の認定について	宅地開発事業が行われ、隣接する土地の活用が見込まれることから村道として2路線認定するもの

平成30年第1回定例会議案・審議結果一覧

会期：平成30年3月6日～3月23日

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議 員 名														
			賛成	反対	松村 広志	竹部 澄雄	葉梨 公一	小泉 嘉忠	塚本 光司	岡沢 清	飯田 洋司	山崎 幸子	椎名 利夫	下村 宏	林 昌子	小泉 輝忠	石川 修	沼崎 光芳	
1号	村道路線の認定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2号	美浦村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3号	美浦村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4号	美浦村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	12	1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5号	美浦村国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6号	美浦村介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	12	1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7号	美浦村指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8号	美浦村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9号	美浦村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10号	美浦村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11号	美浦村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12号	美浦村空家等対策の推進に関する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13号	美浦村企業立地の促進等のための固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14号	美浦村企業誘致条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15号	美浦村企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16号	美浦村スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17号	平成29年度美浦村一般会計補正予算（第5号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18号	平成29年度美浦村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19号	平成29年度美浦村農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20号	平成29年度美浦村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21号	平成29年度美浦村介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22号	平成29年度美浦村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23号	平成29年度美浦村水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24号	平成29年度美浦村電気事業会計補正予算（第1号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25号	平成30年度美浦村一般会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26号	平成30年度美浦村国民健康保険特別会計予算	原案可決	12	1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27号	平成30年度美浦村農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28号	平成30年度美浦村公共下水道事業特別会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29号	平成30年度美浦村介護保険特別会計予算	原案可決	12	1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30号	平成30年度美浦村後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31号	平成30年度美浦村水道事業会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32号	平成30年度美浦村電気事業会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（沼崎 光芳議員）は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。

※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。

「学校における働き方改革」について



やまざき さちこ
山崎 幸子
議員

質問 現在の学校教育現場の状況について、教育長はどのように考えているか。

答弁 (教育長) 教員は、熱心さのあまり、時間を忘れ仕事に没頭しているところがある。また、時間外手当が支給されないこともあり、時間管理についての意識が希薄になる面もある。従って、教員の長時間勤務の要因を見直し、教員が本来担うべき業務の授業・学習指導・生徒指導などに専念できるようにするため、学校における働き方改革が必要であると考える。

質問 本村の教育委員会としては、今後、学校における働き方改革にどのように取り組んでいくのか。



答弁 (教育長) 美浦村教育委員会としては、来年度は、5つの取り組みを実行したいと考えている。

- 1、夏季休業期間中の8月11日～16日と、11月13日を学校閉庁日にする。
- 2、月に一回以上、早期退

庁日を設定し実施する。

3、部活動は、原則として週2日間休養日を設ける。

4、表計算ソフト等を活用し、自分の勤務時間を把握し、時間管理の意識を高める。

5、夏季及び冬季の休業期間中の時差出勤。

「おたすけ隊」について

質問 現在、おたすけ隊は活動停止状態となっている。何が原因でうまく活動できないのかを、おたすけ隊のメンバーを含め、社会福祉法人や介護事業所、NPO、ボランティア団体等と話し合いは行われたのか。

答弁 (保健福祉部長) 団体との話し合いは行っていない。今後、おたすけ隊のメンバーや事務局・現場からの声、そして現状等を把握し、役員会等で協議し、今後の在り方を模索していく。

質問 おたすけ隊の管理運営を、ボランティアセンター等に移した方が良いのではないかと思うが、今後の計画を村長に尋ねる。

答弁 (村長) 人の助けを借りないと生活が困難な方の依頼がたくさん届けば、シルバー人材センターやボランティアセンターにお願いをして協力を仰ぐということは可能だと思つ。





一 般 質 問

独居の高齢者支援について



まつむら ひろし
松村 広志
議員

質問 自他共に豊かな共生社会の実現には正しい理念が求められる。いま、行政並びに地域住民による「支え合いのコミュニティ」に向けた意識改革が迫られている。国の推計では、2040年には世帯の約4割が一人暮らしになると予測しており、晩婚化や未婚・離婚等の増加が要因とされる。中でも65歳以上の高齢者は、男性が20.8%、女性が24.4%と推測しており、配偶者や子どものない一人暮らしの高齢者は、現役世代に比べて経済的に困窮しやすい。更には孤独死のリスクも高

まる。社会性を考える上で大きな課題と言える。本村の現状と支援の取り組みについて伺う。



答弁 (保健福祉部長) 本村でも高齢化率の増加とともに独居高齢者数は増加しており、現在525人となっております。

いる。支援の取り組みとして「老人クラブみほ」の見守り活動や民生委員による配食サービス、70歳以上の一人暮らしへの定期便事業等を行っている。更には地域包括支援センターで専門職を配置し保険医療の向上や福祉の増進、生活相談等を行っている。しかし行政の対応には限界もある。今後は今まで以上に地域住民による深い繋がり・連携が必要と考える。自助・共助・公助の連携の上に、向上改善への協議を進め一人暮らしの高齢者をはじめ住民にとって安心して暮らしやすい美浦村づくりに共に取り組んで参りたい。

本村の更なる広報活動について

質問 人口減少や少子高齢化等により、今後多くの分野でダウンサイジングが迫られる。社会の閉塞性に抗するた

め、地域性のある新たな取り組みが必要と考える。一昨年に提案した「みほちゃんネットワーク」は、シティープロモーションの一環として、個人や団体等で「みほ」と名付く方々を対象に、新たな繋がりにより地域活性の交流を目指したものである。その後の本村の検討を尋ねる。また、併せて提案した来村された方へ発行する「住民証」についてはどうか。最近、全国で4〜5の自治体が同等の事業を始めている。本村の意向を伺う。

答弁 (総務部長) 「みほちゃんネットワーク」については、村のPRやイベント交流において一つの方策とは思えるが、限定的な「みほ」の名前のため事業としては難しさがある。また、本村を訪れて頂いた方へ発行する「住民証」については今のところ未定である。

災害通報システムについて



しいな としお
椎名 利夫
議員

質問 屋外防災無線の設置計画の概要は。

答弁 (総務部長) 消防庁はこれまで以上に情報伝達手段の多重化を進めるよう、全国自治体に向けて取り組みを求めてきた。屋外に設置したスピーカーを通して住民の方々に緊急情報を伝える屋外防災行政無線の設置計画は、12月に災害に強い情報連携システムの更新を迎え、その機能を刷新することとしており、さらに即座に放送でき、緊急度、重要度が伝わる音声での新たな屋外スピーカーを設置する

ものである。

質問 屋外拡声器は何基必要と考えているか。

答弁 (総務部長) 既存資産を最大限活用するため災害に強い情報連携システムの整備対象箇所に昨年竣工の地域交流館みほふれ愛ブラザを加えた18施設22ヶ所を対象に検討を重ね、現在は13ヶ所に設置することを想定している。

質問 どのように運用するのか。

答弁 (総務部長) Jアラートで受信する緊急情報等は自動連携させて発報を、避難準備・勧告・指示や避難所の開設情報等、村から発する災害情報は手動による発報を、定時放送として、児童生徒が下校する時間を見計らい、地域住民に子供たちの見守りをお願いする放送等を想定している。

農免道路飯倉美浦線の
整備について

質問 工事が完了するのはいつ頃の見込みか。

答弁 (経済建設部長) 本村担当区の1,060メートルのうち、920メートルが完成しており、交差点付近140メートルが未整備となっている。交差点部の道路幅員が著しく狭くなっている箇所は、竜ヶ崎工事事務所が

用地交渉を進めており、用地買収完了後、竜ヶ崎工事事務所が行う狭小部分の解消工事と合わせて、本村の未整備部分の工事も施工するよう推進してまいりたい。

質問 阿見町担当区域の見通しは。

答弁 (経済建設部長) 阿見町においても美浦村と連絡する幹線的な重要な路線として350メートル区間の歩道整備を実施、狭小で危険性の高いカーブ区間の改善を3ヶ所実施している。今後の整備予定については財政状況を勘案しながら検討してまいりたいと伺っている。

答弁 (村長) 美浦村だけ整備しても、阿見の方が遅れていては、その事業の意味が成り立たない。千葉町長には、改めてその辺の要望をしてまいりたい。





一 般 質 問

子育て支援について



たけべ すみお
竹部 澄雄
議員

質問 美浦村では、平成30年4月より出産後の産婦の生活を支援する産後ケアを実施するが、「宿泊型ケア」と「日帰り型ケア」の利用期間と利用日数及び料金を伺う。

答弁 (保健福祉部長) 家族等から十分な育児の援助が受けられない産婦及びその子で、心身の不調・育児不安・その他支援が必要と認められる者に産後ケアを行う事業で産後も安心して子育てが出来ることを目的としている。対象者は、村内に住所を有する出産後4カ月未満の産婦及びその

乳幼児で利用日数は、1回の

出産につき5日間を限度とするが必要と認める場合は、延長も可能であり宿泊型ケアは1泊の料金が5,000円、日帰り型ケアは2,500円となる。また、どちらの利用においても生活保護世帯と村民税非課税世帯においては無料である。なお、パンフレット・広報・村ホームページで周知して行く。

質問 チャイルドシート購入補助金申請を子育て支援センターでも申請できるように出来ないか。

答弁 (教育次長) 現在、チャイルドシート補助金申請は、役場2階生活環境課で行われているが、対象者の利便性をふまえ平成30年度より子育て支援センターと保健センター

でも申請窓口として対応できるように検討する。

居住する外国人の災害避難と国際交流について

質問 外国人に配布する美浦村ハザードマップの作成がまだ出来ていないが、災害時の避難方法を伺う。

答弁 (総務部長) 霞ヶ浦浸水想定区域の見直しがあり美浦村ハザードマップの改定が必要のため、現在のハザードマップの凡例表示・避難所名を外国語に翻訳し対応する。

質問 国際交流の場所を設けて外国人に「防災訓練」「村のイベント」「地域の清掃活動」を紹介し、居住する他の外国人に参加を呼び掛けるリーフレットの作成を依頼する考えがあるか。

答弁 (総務部長) 美浦村国

際交流協会の協力を得て「防災訓練」「村のイベント」「地域の清掃活動」の参加を呼び掛ける。また、イベント等のチラシを作成する際には協力を依頼する。

質問 小中学校の英語活動の充実のために村に居住する外国人を学校に招待し、国の文化・生活などを説明し、子どもたちの海外や英語に対する関心・意欲を高める教育を実施する考えがあるか。

答弁 (教育次長) 本村の外国語活動は、小中学校に派遣している外国語講師を活用し授業者とともに行っており、充実した活動をしている。また、新たな取組みとして就学前教育をより充実させるため、保育所及び幼稚園にも週1回外国人講師を派遣している。幼少期から外国の方とのふれあいを体験し国際理解の一助となっていると考ええる。

国保税第3子以降の均等割額全額免除を



おかざわ きよし
 岡沢 議員

質問 国保税均等割は、世帯の加入者数に対して課税するもの。収入のない子どもにもまで課税するもので、子どもが増えれば、その分、国保税を多く払わなければならない。子育て支援に逆行するもの。第3子以降の均等割の免除を。



答弁 (保健福祉部長) 平成28年度末で、対象となる第3子以降の子どもの数は45人。平成30年度の国保税均等割額は、基礎分で25,400円、後期高齢者支援分で8,300円、全額免除した場合、一人当たり、年間33,700円となる。対象者数を掛けると152万円の減免額となる。

答弁 (村長) 本来であれば、国が率先して行うべきもの。均等割免除の施策を取り



入れれば、美浦村のなかでは、第3子以降も育てやすい環境になると思う。今後、調査・研究をして、子育ての環境が大きく変わるといふものが引き出せれば、よそよりも先に実現していきたい。

進要保護者の新入学児童生徒
 学用品費の入学前の支給を求める

質問 平成28年第3回定例会で、進要保護者の新入学児童生徒学用品費を入学前に支給するよう質問・要望した。入学前支給で検討するとの回答だった。

現行は7月支給となっている。支出の負担の多い3月支給とすべきではないか。改めて、現時点での検討状況は。

答弁 (教育次長) 本村においては、平成29年3月の文部科学省初等中等教育局長通知の趣旨を踏まえ、平成31年度入学する児童・生徒に入学前

支給を3月に行えるよう、要綱等を整備して実施する。



質問 保護者への周知はどのように行うのか。

答弁 (教育次長) 新小学生については、就学時検診の際に案内チラシを配布、新中学生については、進要保護者就学援助費を既に支給されている場合、自動的に支給し、洩れる者が出ないよう小学6年生を対象に案内チラシを配布する。転入者については、補足の都度、対応する。



一般質問

ICT教育に関するアンケートの実施は？



飯田 洋司 議員

質問 成人式を迎える成人へのアンケート調査と平成31年の成人式典のアンケートは実施できるのか。



答弁 (村長) 成人式のアンケートはできないが、中学校のアンケートを実施した。また、小学校の高学年のアンケートもできれば、早めに実施をしたいと考えている。

学校教育課で実施したアンケート調査について

質問 アンケート調査結果を今後の対策にどう活かすのか、具体案などは。

未定稿

未就学児の保護者の皆さまへ アンケート調査にご協力ください

日頃は、美浦村の教育行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、わが国では経験したことのない高齢社会を迎え、あわせて少子化が進んでおり、本村においても、同じように児童生徒数の減少が進んでいます。本村は、昭和53年の日本中央競馬会美浦トレーニング・センターの開場による人口の増加に対応するため、学校施設を始め多くの公共施設を整備するなど「村づくり」を進めてまいりました。その時代に建設した公共施設は、40年を経過したものも多くあります。これは、本村だけではなく、全国的な状況であります。本村では、本年2月に「美浦村公共施設等総合管理計画」を策定し、教育施設を始め、村の公共施設の管理を今後10年間どのように進めていくか定めました。維持していくためのコストを計算し、人口の推移を考慮して削減できるものは削減するなど、効率的に質の高い公共サービスを提供する計画となっています。



大山ゲレンデの特殊堤防について

答弁 (教育次長) 様々な角度から検討を行い、今後の美浦村内の小中学校のあり方を提案し、多様な議論を深めていきたい。

質問 特殊堤防の建設工事が先端部で休止の状態のように見えるが。



答弁 (経済建設部長) 国土交通省霞ヶ浦河川事務所に確認したところ、当該特殊堤防の整備については、北岸部より順次整備を進め、最後に残った東岸端部について平成28年度の工事として計画しており、工事の施工にあたり、当地に居住する方と協議を重ねたが、理解・協力を得ることができず、やむを得ず約77メートルの区間の特殊堤防の建設工事を休止している。しかし、水害の防止のため早期完成を目指して行きたいとのことである。

答弁 (経済建設部長) 国土交通省霞ヶ浦河川事務所に確認したところ、当該特殊堤防の整備については、北岸部より順次整備を進め、最後に残った東岸端部について平成28年度の工事として計画しており、工事の施工にあたり、当地に居住する方と協議を重ねたが、理解・協力を得ることができず、やむを得ず約77メートルの区間の特殊堤防の建設工事を休止している。しかし、水害の防止のため早期完成を目指して行きたいとのことである。

高等学校通学費助成事業について



はやし しょうこ
林 昌子
議員

学費助成事業の実施については、公平性の観点から導入は考えていない。

質問 通学費助成は、子育て支援や定住促進の観点から導入自治体が増えてきている。そこで、中学校卒業後の移住家族世帯数、村内から通う高校生の交通手段の現状、通学費助成事業の導入についての見解を伺う。

答弁 (教育次長) 中学校卒業後の移住家族世帯数は、統計処理が困難なためH28と29の1月から5月の転出者を抽出分析し、767人の転出者のうち中学3年生は12名である。また、交通手段の現状については把握していない。通

質問 各自治体が現場にあつた助成をし、保護者の経済負担軽減と高校生の就学支援から通学補助金は頑張る子どもと家族への村からのプレゼントである。少額でも助成できないか村長に伺う。

答弁 (村長) 検討はするが、今のところ難しいかなと思う。違う部分で考えられるものがあれば、それらを模索していく。

観光まちづくりPRについて

質問 美浦村の良さを知り訪れる人との交流事業に力を入れることでより良いまちづくりが確立できると考える上で、

空き家の現状と活用について、「農泊」事業の推進について、「お試し居住体験」事業について、美浦村の観光スポットPRについて、今後の観光まちづくりについて伺う。

答弁 (経済建設部長) 空き家については、現地調査の結果、空き家と思われる220件に対しアンケートを実施、回答率は50.5%で111件、空き家を売りたい・貸したいが47件、その内美浦村空き家バンクに登録したい方は23件であった。

農泊については、国の農山漁村振興交付金を活用した自治体もあり、良い事例や悪い事例を視察しながら実行可能な方法を検討し、協力してくれる農家がいるようなら考えていきたい。

答弁 (総務部長) お試し居住体験については、県内で平成28年に9市町村で実施して

いる、事業の対費用効果を調査しながら検討する。

答弁 (経済建設部長) 観光スポットPRについては、みほーすとふれ愛プラザのPRを図ることが美浦村の知名度の向上や観光への期待感の向上に結び付くと考える。

今後の観光まちづくりについては、ふれ愛プラザへの集客を図り、安中イチョゴやマッシュルーム、パブリカなどの特産品の販売や観光地の紹介により本村のブランド化を図る。

質問 村長が考えるふれ愛プラザ中心の観光スポット構想で力を入れたいものは。

答弁 (総務部長) たくさんふるさと納税をしてくれる方にプレミアム村民証を発行し、来村時に特典を付けることか、全国のいいところを利用して村をPRしていきたい。



議会運営委員会
視察研修報告

【視察日】

平成30年1月24日～25日

【視察先】

- 神奈川県寒川町議会
- 埼玉県寄居町議会

【視察目的】

現在、本村議会で積極的に押し進めている「議会改革」における、会議等でのペーパーレス化をさらに推進するための「タブレット端末の活用方法」また、「開かれた議会」のための情報発信の方法・取り組みについて先進地を視察する。

【視察内容】

1日目は寒川町議会のタブレット端末の活用方法についてである。

本村でもタブレット端末を導入し、本会議などのペーパーレス化を実施しているが、さらなる推進に向け寒川町議



寒川町役場にて研修

会の取り組みについて視察してきた。
寒川町議会は、平成26年1月に議会関連資料のペーパーレス化に向け調査研究を開始し、その後、タブレット端末、文書共有システム業者のプレゼンの実施、執行機関との調整、タブレット操作研修の実施、定例会での試行などのプロセスを経て、平成27年第1回定例会から紙との併用で運用を開始し、同年第4回定例会からは、完全ペーパーレス化を実現している。

寒川町議会もタブレット端末機器については、本村と同様に機器の信頼性及びセキュリティなどの観点からiPadを導入している。ただ、本村の買取りとは異なりリース契約にて導入している。その他、導入しているシステムについてやタブレット端末の活用状況など丁寧にご説明いただいた。

2日目は、埼玉県寄居町議会の開かれた議会への取り組みについて視察した。

寄居町議会は、広報広聴活動への取り組みとして、議会だよりの作成に力をいれている。読まれる議会だよりを作成するためのポイントとして、読み手（町民）の側に立ったわかりやすい広報、見出し、写真を見ればわかる広報、町民参加の広報と大きく3つのポイントを上げていた。特に感心したのが3つめの住民参加である。寄居町議会の議会だよりを拝見すると本当にた

くさんの町民の声が写真と共に掲載され、これだけ身近な町民の方々が登場する紙面であれば、さぞかし寄居町の皆さんは議会だよりの発行を楽しみに待っているのだろうと推測できる。



寄居町議会議場にて

その他にも開かれた議会への取り組みについて、丁寧に説明をいただいた。

両町ともすばらしい取り組みをされており、本村発展のための参考にしたいと考えている。

第4回美浦村議会報告会を開催しました

美浦村議会では、住民に開かれた議会、住民参加を推進する議会、住民に身近な信頼される議会を目指して、美浦村議会基本条例第5条の規定に基づき、平成30年2月17日に第4回美浦村議会報告会を開催いたしました。

当日は64名の参加をいただき、後半の意見交換会では、様々な課題・提案など多くの意見が出されました。



今回は「みほふれ愛プラザ」にて開催

報告会の内容

- ・東京医科歯科大学霞ヶ浦分院跡地
- ・防犯カメラ等の設置
- ・メガソーラー発電所
- ・国道125号大谷バイパス工事
- ・地域未来塾
- ・磁気ループシステム
- ・村議会議員選挙期日の改正
- ・議員定数及び議員報酬

について

参加者の方に議会に対する意見をお伺いしました。その一部をご紹介します。



美浦村の農業後継者不足等も問題となっているが、農業女子・男子が全国的に増加しつつある昨今、農業法人化の積極的導入、支援も定住化促進策を含め検討しているのか？



後継者育成を含め、若い議員の出番を期待します。牛久市議会には地域活性化を大学院で勉強中の活力あふれる若い議員さんが活躍している。



質問に対しての答えが良くない。初めて出たが、やる意味があったのか、はなはだ疑問だった。

その他にもたくさんのご意見を頂戴しました。すべて紹介は出来ませんが、今後の美浦村の為に、参考にさせて頂きたいと思います。ご協力ありがとうございました。



議員活動

2月	5日	美浦村水田農業推進センター会議
	6日	平成 29 年度美浦村地域活性化対策検討委員会
	7日	美浦村農業再生協議会、農家組合長会議
		平成 29 年度青少年健全育成茨城県推進大会
		後期高齢者医療広域連合平成 30 年第 1 回議会運営委員会 平成 30 年第 1 回全員協議会 全国町村議員会館定例理事会
	8日	全国町村議会議長会第 69 回定期総会・都道府県会長会 臨時評議会
		稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会 関東町村議会議長会会長会議
	9日	自治功労者表彰式
		茨城県稲敷地方航空騒音公害対策協議会協議懇談会
	11日	茨城町民の日記念式典
		NPO 法人ジョイナスみほ体操フェスティバル
	13日	第 2 回美浦村空家等対策協議会
		美浦村国民健康保険運営協議会
	14日	美浦村地域公共交通会議
		龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会 平成 29 年度美浦村教育論文表彰式・村教育研究会発表会
	15日	江戸崎地方衛生土木組合議会全員協議会
		平成 29 年度町村自治功労者表彰式
	16日	福島県三春町議会運営委員会視察研修受入れ
		いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会第 3 回 常任委員会 第 4 回美浦村議会報告会リハーサル、地方自治研究会
	17日	第 4 回議会報告会
19日	第 3 回美浦村地域交流館運営委員会	
20日	美浦村高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会 平成 30 年第 1 回茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会	
21日	平成 29 年度町村議会議員自治研究会	
22日	江戸崎地方衛生土木組合出納検査 茨城県行政書士会平成 30 年新春交流会 平成 30 年第 1 回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会	
23日	平成 30 年第 1 回龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会 例月出納検査	
26日	大谷小絆づくりプロジェクト会議	
	美浦村認定農業者の会交流会	
27日	議会運営委員会	
	議会全員協議会 (H30 予算内示会)	
28日	平成 30 年第 1 回江戸崎地方衛生土木組合議会定例会	
3月	6日	議会定例会、議会全員協議会
	7日	厚生文教常任委員会、経済建設常任委員会 自治体消防制度 70 周年記念式典

3月	8日	総務常任委員会 第 3 回美浦村産業文化祭実行委員会
	9日	議会全員協議会
	10日	県南町村議会議員親睦会
	13日	美浦中学校卒業式
		議会全員協議会、地方自治研究会、広報公聴委員会
	14日	予算審査特別委員会
	15日	美浦幼稚園卒園式 美浦村ディスクゴルフ教室
	16日	予算審査特別委員会
	17日	第 49 回柔剣道美浦大会 (柔道)
	19日	平成 29 年度第 2 回美浦村人材育成推進協議会
	20日	各小学校卒業式
		美浦村地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会 青少年育成美浦村民会議「第 2 回理事会・幹事会」 青少年育成美浦村民会議あいさつ声かけ運動
	22日	本会議 (一般質問)
	23日	保育所修了式 議会運営委員会、本会議、議会全員協議会
	24日	美浦老連 3 月期輪投げ大会 「グループホームるびなす」[障害福祉サービス事業所スカイロケ ット] 竣工式
美浦ステークス 陸平をヨイショする会記念コンサート		
26日	江戸崎地方衛生土木組合出納検査 平成 29 年度第 4 回茨城県都市計画審議会 社会福祉協議会評議員会 美浦村国民健康保険運営協議会 例月出納検査	
	27日	山梨県鳴沢村議会議員視察受入れ
28日	美浦村シルバー人材センター理事会	
30日	美浦村教育委員会人事発令通知書交付式 (転出)	
4月	2日	美浦村教育委員会人事発令通知書交付式 (転入)
	9日	各小学校入学式
	10日	美浦中学校入学式
		地方自治研究会
	11日	美浦幼稚園入園式
	13日	広報公聴委員会
	16日	美浦トレーニングセンター開設 40 周年記念式典
	18日	平成 30 年度市町村長・市町村議会議長会議
	24日	春の地域安全運動キャンペーン
	26日	例月出納検査
27日	江戸崎地方衛生土木組合議会全員協議会	
28日	茨城県女性のつばさ連絡会県南地域平成 30 年度総会	

次回定例会は、6月12日(火)開会予定です。

議会を傍聴してみませんか

- 役場 3 階の議場まで新設のエレベーターでお越しいただけるようになりました
- 役場 1 階のロビーでも本会議の実況をご覧になることができます
- 会議録や議会だよりなどホームページに掲載しています
- 議会だよりについてのご意見・ご要望をお待ちしています



お問い合わせ先
議会事務局
☎ 029-885-0340 内線 301・302
E-mail gikai@vill.miho.lg.jp
URL <http://www.vill.miho.lg.jp/gikai/index.htm>

議会広報公聴委員会

委員長	山崎 幸子	副委員長	岡沢 清	委員	椎名 利夫
委員	飯田 洋司	委員	塚本 光司	委員	小泉 嘉忠
委員	葉梨 公一	委員	竹部 澄雄	委員	松村 広志